国内外の情報の収集・発信

ヒトの健康に影響を及ぼしている海外の事例、ハザードやリスク評価に関する情報を集めて整理し、厚生労働省、農林水産省を含むリスク管理機関等と共有しています。これらの情報は食品安全総合情報システムに登録し、「食品安全関係情報」として、ホームページを通じて提供しています。

また、ハザードについて国内外の情報を収集し、分かりやすく整理した「ファクトシート※」を作成し、ホームページに掲載しています。

※ファクトシート
ハザードごとに、国際機関や国内外のリスク評価機関が公表した評価結果、最新の研究成果及びリスク管理措置等の情報を収集・整理した「科学的知見に基づく概要書」。

食品安全モニター

全国から公募・選考した方々（約450名）に「食品安全モニター」を依頼し、食品安全行政の監視（モニタリング）や、食品安全に関する広報等の活動にご協力いただいています。食品安全モニターからの意見・提案や食品安全に関するアンケート調査結果はホームページに掲載しています。

国際協調

海外のリスク評価機関と定期的に会合を持つなど積極的に連携強化に取り組んでおり、最新の情報と意見の交換を行っています。

◎海外の食品安全を担う機関との協力

食品安全委員会は、これまで、以下の国際機関と協力覚書（MOC）を交換し、協力関係を構築してきました。

本 MOC に基づき、リスク評価の手法・個別の課題についての情報交換・意見交換を行い、リスク評価を担当する機関との更なる連携強化を図っています。

◇EFSA（欧州食品安全機関）
◇BfR（ドイツ連邦リスク評価研究所）
◇ANSES（フランス食品環境労働衛生安全庁）
◇FSANZ（オーストラリア・ニュージーランド食品基準機関）
◇ASAE（ポルトガル経済食品安全庁）
◇DTU（デンマーク工科大学）

国際セミナーの様子

◎国際セミナー

食品のリスク評価に関する様々な課題について、海外から専門家を招へいしてセミナーやシンポジウム、国際会議を開催しています。また、ウェブ会議システムやメール等を活用して情報交換を実施しています。